

オレゴン州：小麦作柄と気象状況 2010年5月30日現在

概況 オレゴン州の2010年5月30日に終る1週間の気象は、低温・湿潤気象であった。Willamette Valleyの最高気温は68~70度F、最低気温は40~45度Fであり、平均気温は平年を2~4度F下回った。好天は1日しかなく、この日の日中に68~70度Fを記録したが、他の日は日中の最高気温は60度半ばであった。1週間の降水量は0.60~1.50インチであった。NC地区の日中の最高気温は65~69度Fであり、The Dallas 一ヶ所にて73度Fを記録したが、平均気温は平年を6~8度F下回った。1週間の降水量は0.30~0.98インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.5日(前週:3.7日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、“Surplus”が更に増加した、所により“Short”も増えた。Subsoilの水分は“Adequate”と“Surplus”の合計が86%であった。Willamette Valleyの冬小麦は良好な生育を示しているが、一部で多雨の為圃場の流失が発生し、又leaf rust(赤さび病)の発生が報告された。Yamhill郡では2度に亘り耐rustの薬剤散布が行われた。NC地区のMorrow郡の冬小麦は、春からの平年以上の降水量のお陰で、生育は順調であり高単位収量が期待される一方、播種直後の土壌水分不足の為幼苗の育ちが貧弱であったこと、冬季の凍害(snow cover不足)、春先の霜害、早期に蒔かれた冬小麦にstrip rust(ムギ黄さび病)の発生等の悲観ファクターも報告された。Sherman郡は5月の降雨のお陰で、長期に亘り同郡を悩ました旱魃状態は可也改善された。Umatilla郡の冬小麦にはleaf rustを初め、例年より多い小麦の病害が報告された。冬小麦及び春小麦の作柄は昨年より良好であった。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	0	5	65	30
Last week	1	4	72	23
Subsoil	1	13	60	26
Last week	0	10	71	19

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	60	5	43	57

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	5	24	55	15
Last week	1	6	28	56	9

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	NA	NA	NA	NA

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	6	30	53	11
Last week	0	6	27	59	8

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

以上